

一閉會 午後十時ニ分
C 八日別記(三)ノ如キビラハ活版刷)ヲ作成シ附近
所迄ニ配布セリ

(2) 事業主側

A 引續キ作業ヲ繼續セルモ原料用ニユ製造工場ノ
ミハ本工場ヨリ分離シ居リテ爭議團ニ乗セラル
ル虞アル為七日ヨリ作業ヲ中止セリ
B 作業ニ従事セル職工及其ノ家族ニ對シテハラジ
オノ設備慰安講演會開催(九日)菓子ノ配布ヲ為
ス等種々優遇及慰安ノ方法ヲ講シ居レリ
C 製品不足ハ名古屋及大阪工場ヨリ補給スル計畫
ヲ樹テ勞働者ヨリノ交渉ニ對シテハ解雇手當尙

願以外ニハ應セサル方針ニシテ態度強硬ナリ

(3) 交渉状況

十日爭議團側春木五郎ハ個人ノ資格ヲ以テ山本工
場長ト會見シ「一日モ早ク解決スル趣旨ノモトニ
被解雇職工ノ復職(理由ハ事業不振ニ基クニ非サ
ル故)ヲ求メ且要求書ニ對スル回答ノ意者アルヤ
否ヤレヲ問ヒタルニ山本ハ「要求書ニ對シテハ回
答ノ必要ナク被解雇者ニ對シテモ復職セシムルヲ
得サルレ旨ヲ答ヘタル上「解決條項ハ解雇手當尙
題ノミレナル旨ヲ言明シタルニ對シ春木ハ反省ヲ
促シ且「再考ノ上西三日中ニ會見セラレタキレ旨
ヲ述ヘテ辞去セリ